



阿曾の鑄物を再びと考  
え、その技術の習得に励ん  
でいるのが林正実さんだ。  
鑄物は、砂を固めて作っ  
た鑄型に溶かした鉄を流し  
込んで作る鉄製品のこと。  
阿曾の鑄物は千年以上の  
歴史をもつ。小学生のとき  
に近くの鑄物工場を見て以  
来、やりたいという思いを  
長年もっていた。「少しで  
も早く修行したい」。3年  
前、35年勤めた会社を退職。  
鑄物の見習工として倉敷の  
鑄物師に弟子入りした。  
始めてみて、鑄型作りの  
むずかしさは半端ではない  
ことを知った。ときには50  
度を超す作業場で週3日、  
ひたすら鑄型を作る。自宅  
に作業場を設け、「納得が  
いくまでやる」と意気込む。  
現代の鑄物は、車のホイ  
ールなどに代表される工業  
製品だ。その道の専門家が  
阿曾の鑄物を知る古老に話

を聞き、技術と知識の両面  
で鑄物と向き合う。  
10年前、自身が塾長を務  
める鬼ノ城塾を立ち上げ、  
世界レベルの作家を講師に  
招き、講演や交流を通じて  
アートを考えてきた。その  
課外授業として年明けに、  
たたら製鉄と鑄物の操業を  
予定。「たたらで作った鉄  
で、鑄物のアート作品を作  
る」。鉄づくりから作品作  
りまでを一環してやりたい  
とこだわりをみせる。  
鑄物への挑戦を林さん  
は、「アートと協働する」  
と表現する。伝統のなかに  
芸術を組み入れた阿曾の鑄  
物を復興したいからだ。  
鑄型に流し込むため、鉄  
を溶かすキューポラと呼ば  
れる溶解炉も自宅に作る計  
画。「15年で一人前。まだ  
まだこれから」。ただ一人  
の阿曾の鑄物師の挑戦は始  
まったばかりだ。

インタビュー  
輝いている人  
アートと協働し、  
阿曾の鑄物を復興したい

阿曾の鑄物を継承しようとしている

林 正実さん(西阿曾)

このコーナーでは、輝いている人を募集しています。あなたの周りにキラッと輝いている人がいたら、ぜひとも広報そうじや編集室(企画課)までご一報ください。自薦・他薦は問いません。



子どもが、発熱したら



お子さんが成長するうえで、いろいろな病気にかかります。そのなかで発熱は必ず経験すると思います。発熱は、ウイルスや細菌などの病原体に感染し、体内に入り込んだ病原体の活動を抑えようとする身体の防衛反応のひとつです。平熱よりも1度以上高く、環境を整え時間をおいても下がらないときは、病原体に感染しているかもしれません。お子さんの平熱を知っておくことが大切です。

特に赤ちゃんは体温調節が未熟なため、衣類の着せ方や室温によって体温が上がることもあります。次のような症状がないか観察して見極めましょう。

- 嘔吐や頭痛があるか(不機嫌や不活発になります)
- 機嫌や顔色は良いか、いつもと違う様子はないか
- 食事や水分は取れているか
- おしっこは出ているか

※生後3か月未満の赤ちゃんが体温38度以上で、機嫌が悪かったり、いつもと様子が違ったりすると要注意。

熱が出て、薬を服用する場合は必ずそのお子さん用の薬を使用してください。発熱時に限らず、大人に使用する薬は子どもには代用禁止です。

問い合わせ こども課母子保健係(☎92-8261)

体温を計っておくのはもちろんですが、発熱以外の症状も注意して観察しておきましょう

キッズにっこり  
家庭応援談

9

栄養委員さん  
おすすめおやつ

りんごパイ

(1個分 97 kcal)



◆材料・数量(5個分)

- A…リンゴ=1個、レーズン=30g、砂糖=大さじ1
- シナモンパウダー…少量
- 春巻きの皮…5枚
- 粉砂糖…少量
- B…小麦粉=大さじ1、水=大さじ1
- バター…大さじ2分の1(6g)

◆作り方

- ① リンゴは皮をむき、たて8等分に切り、芯をとっていちょう切りにする。
- ② レーズンは軽く水洗いして水気を切る。
- ③ Aを鍋に入れ、かき混ぜながら弱火でしんなりするまで煮る。最後にシナモンパウダーを加える。
- ④ 春巻きの皮で③を巻き、混ぜたBでふちを止める。
- ⑤ 溶かしたバターを表面に塗って、オープン(目安は200℃で5分)できつね色になるまで焼く。
- ⑥ 2つに切って茶こしで粉砂糖をふりかける。